

日の里のまちづくりの方向性とまちづくりの取り組みが示されました

まちづくりワークショップでは、いろんな分野からたくさんのまちづくりのアイデアが出されました。これらの提案をもとに、日の里のまちづくりの5つの方向性とまちづくりの取り組みをまとめました。下の表に、まちづくりの方向性とそれぞれの取り組みのメニューを示します。

『みんなで進めよう！日の里のまちづくりの取り組み』

日の里のまちづくりの5つの方向	日の里のまちづくりの取り組み	
コミュニティ活動を盛んにする	コミュニティ活動の参加者をもっと増やす仕組みをつくる 自治町内会単位の見直しを行う 一人でも多くの人にコミュニティ活動への参加を呼びかける 住民ニーズに基づいた活動にする コミュニティ活動をもっとPRする みんなが参加できる地区の催しを企画する 日の里まつりのあり方を見直していく みんなが楽しめるイベントを開催する 自治町内会単位で横のつながりをつくる機会を増やす 自主的なサークル活動を行う 地区の催しの場を確保する 催しを企画する人材を確保する	コミュニティビジネスを行う コミュニティで「マッチング事業」を行う 活気ある自由市場をつくる フリーマーケットを開く コミセン酒場を開く 遊休地を活用する方策を考える
子育ての環境をよくする	子どもたちとお年寄りの交流を行う 地域と学校が連携してお年寄り子どもたちの交流の場を設ける お年寄りの経験や知識を子どもたちに教える 子どもたちの遊びの機会を増やす 空き教室などを利用して子どもたちの遊びの機会をつくる 子どもたちが自然の中で安全に遊べる機会をつくる 公園で子どもたちがもっと遊ぶように工夫する	子どもたちの地域活動への参加を促す 自治町内会と子ども会のつながりを強める 日の里まつりで子どもたちの活躍の場を増やす みんなが参加したくなる魅力ある「子ども会」にする
高齢者がいきいきと暮らせる地域にする	高齢者へのお世話を充実させる 高齢者の見守り活動を行う ボランティアで高齢者のお世話をを行う 地域密着型のコミュニティビジネスを行う 商店の協力などにより高齢者のお世話をを行う ボランティア活動を活発にする仕組みをつくる ボランティアセンターと連携する ボランティアで行うサービスを考える ボランティア活動を推進するために地域通貨の導入を検討する	高齢者が気軽に集まりくつろげる場を提供する 高齢者が気軽に集まる機会をつくる 高齢者と子どもが交流する場を設ける コミセン酒場を開く（再掲） お店の協力などにより高齢者がくつろぐ場所を確保する 高齢者のための施設を充実させる 高齢者が自立できる環境を整える 男の自立大学をつくる 高齢者同士で交流する機会を増やす 高齢者の生活に役立つ情報を提供する まちや住まいのバリアフリー化を進める
安心安全な地域にする	自主防災の仕組みをつくる 地域の防災組織をつくる 避難のための計画をたてる 災害危険箇所の状況把握を行う 災害時に対処できるよう訓練をする 災害時に対処できるよう設備等を整える 道路の改善を行う	自主防犯の仕組みをつくる 地域の防犯組織をつくる 防犯パトロールを行う 防犯につながるまちの工夫をする 青少年の非行防止活動を行う みんなが気軽に声をかけあう 防犯などにつながる声かけ運動を行う
便利で活気のある地域にする	コミュニティ施設や医療施設を充実させる 小学校の敷地を活用してコミュニティ・センターを整備する 医療施設を充実させる 若い世代向けの住宅や最寄りの商業施設の立地により地域の活性化につなげる 若い世代が住める住宅を供給する 商業施設を充実させる	交通の利便性を高める 東郷駅周辺を整備する 国道3号のアクセスをよくする

* 印は住民がリーダーシップをとって進める取り組みを示し、 は行政のリーダーシップが必要な取り組みを示します。

ご意見・ご提案をお寄せ下さい

コミュニティ運営協議会では、今回のワークショップの様子をこの広報で逐次お伝えしてきました。

ワークショップの報告は今回で最後ですが、次回からはまちづくり計画作成委員会での協議内容を中心に、まちづくり計画の作成状況をお知らせします。みなさんのまちづくりに関するご意見やご提案などありましたら、これからもどしどし日の里地区コミュニティ・センターにお寄せ下さい。



